

# 電気衣類乾燥機の取り扱いについて



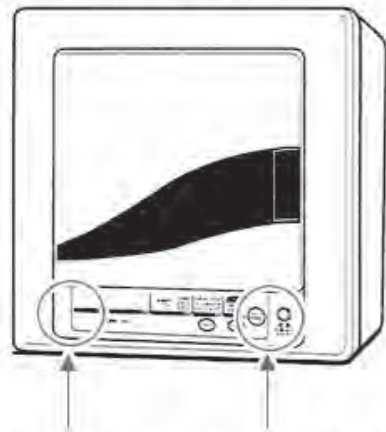
1994年5月から2011年11月までに製造した三洋電機株式会社製の電気衣類乾燥機14機種におきまして、制御基盤内部に搭載されている部品から**発煙・発火**に至る可能性があることが判明しました。

つきましては、対象製品を使用しているご家庭は点検・修理を受けるようにして下さい。

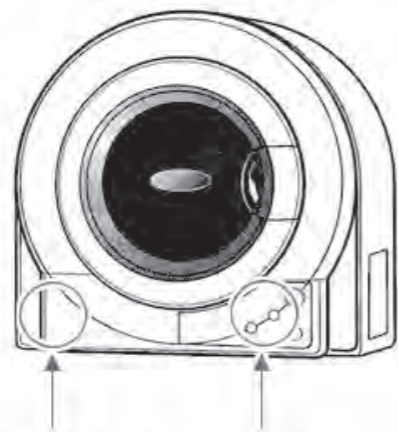
(対象製品)

ブランド	形状	品番	対象製造期間
SANYO	角型	CD- 45A2	1994年 5月～1996年 8月
		CD- 45Z2	1996年 8月～1998年 6月
		CD- 50D1	1997年 7月～1998年 8月
		CD- 502	1997年 7月～2001年 4月
		CD- 42D1	1998年 2月～2001年 7月
	ドーム型	CD- S50A	1998年 8月～1999年 8月
		CD- S500	1999年 7月～2001年 1月
		CD- EC521	2000年 7月～2002年 8月
		CD- S451	2001年 4月～2011年11月
		CD- EC551	2001年 7月～2006年10月
NEC	角型	HD- 45ZC	1994年 9月～1996年 8月
		HD- 45ZE	1996年10月～1997年 6月
FUJITSU	角型	HL- 42D	1998年 5月～2000年 3月
合計		14機種	

【角型 例】



【ドーム型 例】



ブランド名、品番は前面パネルの左右どちらかに表示されています

## 点検・修理のご連絡窓口

### ①ホームページ

URL: [http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products\\_safety/140519.html](http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/140519.html)

### ②電話 フリーダイヤル 0120-34-5390(無料 携帯・PHSからも利用可)

(受付時間) 9:00～21:00(6月18日まで毎日)  
9:00～17:00(6月19日以降、土・日・祝は除く)

# 広野町職員(高校卒程度)を募集します

■採用予定日 平成27年4月1日 ■職種・採用予定人員 一般事務 1人程度 土木 1人程度 ■受験資格 平成5年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人。学歴不問。(欠格事由は募集要項で確認のこと。) ■試験方法:第1次試験は①教養試験(筆記)、②専門試験(筆記。土木のみ)と③事務適性検査、一般性格診断検査、職場適応性検査、第2次試験は個別面接と作文 ■第1次試験の日時・場所:平成26年9月21日(日) / 杉妻会館(福島市杉妻町3番45号) ■申し込み方法:申込書を平成26年7月16日(水)から8月15日(金)までに郵送(8月15日午後5時までに受領したもの)または直接(開庁日時内)広野町総務課庶務係(〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35番地・☎0240-27-2111)へ。試験要項と申込書は本町総務課か郵送請求(120円切手をはった返信用封筒(角形2号)同封)で入手可能。

問 総務課 庶務係 ☎0240-27-2111

## 町の復興のため、一緒に働けることを楽しみにしています

総務課 **こくぶん ゆうき 國分 優希** (平成25年度採用)

私は、仕事で代表電話を受けているため、町民のみなさんの声を聞く機会はとても多いです。みなさんそれぞれに違った事情や思いがあり、自分なりに理解しながら、丁寧に分かりやすく受け応えをするよう心がけています。

私たちの町は、役場と町民の距離が近く、職員と町民の楽しい会話が毎日のように聞こえてきます。ここでの何げないやりとりが、私にとっては温かい光景です。

入庁してからの1年で見つけた広野町のいいところは数多くあります。これから1年後、さらに1年後、自分がどんな発見をするのか、どんな気持ちの変化があるのか、非常に楽しみです。



産業振興課 **さいとう まさと 齊藤 真人** (平成22年度採用)

私は、平成22年度に広野町に入庁し、仕事を始めたころは分からないことばかりで不安でしたが、経験豊かで優しい先輩たちからのサポートのおかげで、安心して仕事をしていました。

そんな中、1年が過ぎようとした3月11日に、東日本大震災という大きな災害が起きたことで、自治体職員としての仕事が大きく変化しました。震災直後の対応業務は、日常的に行う業務では経験できないことでしたので、責任感がより必要で、自分で考え対応していくことが求められました。

私は、東日本大震災の経験で行政職、人間として一つ成長することができたと感じています。



町民保健課 **いいたか わかな 飯高 稚菜** (平成25年度採用)

私は、広野町で生まれ育ち、何か故郷に恩返しをしたいという思いから広野町職員を目指しました。

採用後は、総合窓口業務を担当しています。窓口業務なので毎日町民の方と接する機会が多く、広野町に対してのさまざまな意見を耳にします。

その中でも、復興関係が多く聞かれます。住民一人ひとりの意見を聞き、その声を町づくりに反映させていくことで、震災前よりさらに良い広野町になっています。

これから広野町の復興も徐々に進んでいくと思います。より良い広野町と一緒に作っていきましょう。



福祉介護課 **すずき まさと 鈴木 政人** (平成22年度採用)

平成22年度が終わろうとしていたとき、あの東日本大震災が発生しました。私は広野町の職員として1年生であり、それまでの日常業務を止めて、地震、津波や福島第一原発事故への対応をすることになり、すべて手さぐりで仕事をしました。

震災対応により住民と直接接する中で、「ありがとう」という言葉を何度もかけてもらい、経験の浅かった私が、改めて自治体の責任の重さとその存在感の大きさを学びました。そして、その言葉が今の私の原動力になっています。

広野町の復興はまだまだ道半ばです。一緒に「東北に春を告げるまち」の復興を目指しましょう。



※サッカー日本代表応援プロジェクト期間中、広野町職員は、日本代表ユニフォームを着用して執務しています。